

コード	304010201
記入日	H24.6.8

課コード	112
課名	こども課
課長名	荒木 宣貴
担当者	野中 絵理子

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 24 年度
------	----------

評価対象事業名称	地域子育て支援事業
----------	-----------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 18 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	3	政策名称	誰もが安心できる保健・医療・福祉の充実	款コード	3
施策コード	304	施策名称	ふれあい、支えあい、助けあい、みんなで育てよう未来の宝	項コード	2
基本事業コード	30401	基本事業名称	地域における子育ての支援	目コード	1
事務事業コード	3040102	事務事業名称	地域子育て支援センター事業費	細目コード	783
関連計画	次世代育成支援地域行動計画	法令・条例規則等	新上五島町地域子育て支援拠点事業実施要綱		

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 子育て支援相談窓口開設		(対象指標1) 244日				
(対象2) 子育てサークル		(対象指標2) 4団体				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・子育て親子の交流の場の提供、子育てにおける悩み事についての相談助言、地域の子育て支援情報提供等を行った。	*****	*****	*****	相談窓口開設日数	*****
		相談窓口開設日数	244日	100%	÷開設予定日数	平成23年度
		① (達成率分析)	電話や来所による相談を毎日受けられるよう施設を開放した。			
*****		*****	*****	*****	活動回数÷	*****
		活動回数	122回	100%	活動予定回数	平成23年度
		② (達成率分析)	予定どおり子育てサークルの活動支援を行った。			
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		*****	*****	*****	助言件数÷	*****
		助言件数	329件	100%	相談件数	平成23年度
		① (達成率分析)	子育てに関する様々な相談について、適切な助言を行なった。			
		*****	*****	*****	子育てサークル数	*****
		子育てサークル数	4団体	80%	÷目標サークル数	平成23年度
		② (達成率分析)	徐々に活動も増えている。今後も活動の推進や新規サークル作りに向けて検討する必要がある。			

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		22年度以前	23年度		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 日	1,422	1,422	1,178	244	244					
	② 回	562	562	440	122	122					
成果指標	① 件	2,385	2,385	2,056	329	329					
	② 団体	18	16	12	5	4					
総事業費 C (A+B)	千円	52,330	52,048	41,121	11,209	10,927					
直接事業費 A	千円	10,330	10,048	6,121	4,209	3,927					
人件費 B	千円	42,000	42,000	35,000	7,000	7,000					
内訳	従事職員数	人	6.0	6.0	5.0	1.0	1.0				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円	10,330	10,048	6,121	4,209	3,927				
	起債	千円									
	その他	千円									
一般財源	千円	42,000	42,000	35,000	7,000	7,000					

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ない	理由	次世代育成支援活動に基づき行うべき事業である。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる いない	理由	センターへの来所や電話相談など、利用者のニーズは高い。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ない	理由	他の子育て関連施設へ出向き活動をする中で、サークル作りへの助言や相談も増えている。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる いない	理由	次世代育成支援行動計画に基づき行う事業であり、費用や業務量に見合った活動結果が得られている。
		・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。	代えられる ● 代えられない	理由	個人や団体のボランティアの協力で実施している部分もあり、最小限の予算で実施しているため。

改善 (ACTION)

1 次 評 価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	特になし。
	今後、課題に向けた改善策	特になし。

2 次 評 価	親の子育てに対する不安・負担感を解消するため引き続き支援を行うこと。
------------------	------------------------------------

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業 の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続				類似事業と整理統合
				事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。